

公益財団法人 松江体育協会

—— これまでのあゆみ

公益財団法人松江体育協会は、大正13年5月に「広く体育・スポーツの振興に関する事業を行い、もって住民の体力向上に寄与する」ことを目的に設立された。

本会は、昭和54年にスポーツ振興と組織の強化を積極的に進めるため財団法人化した。平成25年には、公益財団法人に移行し、引き続き競技力の向上を図りながら地域スポーツの振興に努めてきている。

また、平成28年には本市のアマチュアスポーツの拠点施設として、多くの市民の待望久しい現松江市総合体育館がオープンした。この体育館は、旧体育館の1.5倍の規模を誇り、大規模大会の開催が可能になるなど、これまで以上に本市のスポーツ振興に大きな役割を果たしている。

本会は令和6年度、創立100周年を迎えた。この間、設立当初からの伝統と業績を継承し、広く体育、スポーツを通し、市民の体力向上と健康増進に努めている。そして各種競技において、国内外を舞台に多くの選手が優秀な成績をおさめ、本市スポーツ史に輝かしい歴史が刻まれている。



発足時の様子（大正14年）

—— 現在の状況

本会は、現在36の競技団体が加盟しており、それら団体を対象に、組織・事業の充実・強化、選手の育成強化等への助成、全国大会出場者へ激励金の贈呈、スポーツ振興にかかる功労者表彰など、各団体と連携しながらスポーツ振興事業を推進している。

また、日々スポーツ指導に携わる指導者の資質向上を

図るため、指導者に求められる知識や技術の習得を目的に、スポーツ指導者講習会も開催している。



錦織圭選手へ応援メッセージを書き込んだボード（平成27年）

—— これから

100周年という大きな節目を契機に、今後も加盟団体をはじめ関係するすべての方と一致団結し、未来を見据え、創立以来の「普く」「絶えず」「正しく」のスローガンを継承し、より一層スポーツの普及、発展と競技力の向上を目指し、活力ある豊かなまちづくりに邁進していく。

そして、松江市総合体育館をはじめ周辺施設と連携しながら、市民スポーツの活性化を図るとともに、令和12年に本県で開催される国民スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会に向け、指導者の養成、優秀な選手の育成・強化に努めていきたい。



松江市総合体育館